

一流プレイヤーのフィールドを公開し、子どもの夢を育む「ドコモ未来フィールド」
第6弾のフィールドはジャパンラグビー リーグワンに所属する「浦安D-Rocks」

全国の多数の応募の中から選ばれた小学1～6年生の子どもたちと保護者が参加

「浦安D-Rocks」が “プロのフィールド”を子どもたちに披露

一流プレイヤーとのラグビー体験や最新のAI技術による「キック診断」、ラグビーを頑張る子どもたちのための“強い体”を作る栄養・食事術について学ぶ食育セミナーなど、子どもたちに“人生初の体験”を提供

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)は、ジャパンラグビー リーグワンに所属する「浦安D-Rocks」の全面協力による、ラグビーの特別体験イベント『ドコモ未来フィールド 浦安D-Rocksラグビー体験』を、3月30日(土)に、ユアテックススタジアム仙台にて開催しました。

当日は、全国の多数の応募の中から選ばれた小学1～6年生の子どもたちと保護者が参加。競技が行われるピッチ上でプロ選手からラグビーを教わる特別な体験や最新のAI技術による「キック診断」、**“強い体”を作る栄養・食事術**について学ぶ食育セミナーと、実際に管理栄養士が監修した栄養バランスに優れた食事を選手とともに一緒にいただくランチ会などの一流プレイヤーと直接触れ合うことができる企画を実施したほか、ロッカールーム見学やウォーミングアップ見学などプロの舞台裏を体験できる企画を実施しました。



【ドコモ未来フィールドについて】

『ドコモ未来フィールド』は、「一流プレイヤーのフィールドを公開し、子供の夢を育む」ことをめざしています。子どもたちを応援していく「ドコモ未来プロジェクト」の中で、「ドコモ未来ミュージアム」「ドコモ未来ラボ」と並ぶ3つの舞台の一つ。「一流プレイヤーとの触れ合い(レッスン・会話など)」「舞台裏」「人生初の体験」をキーワードに、1人でも多くの子どもの「心が動く瞬間」、そして「夢や将来を考えるきっかけ」を作りたいと考えております。これまでにドコモは長い歳月をかけて通信ネットワーク事業を行う中で、さまざまな地域と密着し、多様なつながりを作ってきました。ドコモが持つさまざまなつながりを世の中に開き、子どもたちの夢や未来を応援する取組みに活かしたいと考え、NHK交響楽団やサッカー・大宮アルディージャ、大宮アルディージャVENTUS、DOCOMO TEAM DANDELION RACING、ボクシングの井上尚弥選手&大橋ボクシングジムなど、さまざまなジャンルのプロのセカイを体験できる場を提供しています。

< 本件に関するお問い合わせ先 >
「ドコモ未来フィールド 浦安D-Rocksラグビー体験」PR事務局(ピーアールコンビナート(株)内)
担当: 二味、杉山 TEL: 03-3263-5621

午前の部の様子



参加する子どもたちは浦安D-Rocksの選手たちに出迎えられながら、さっそくスタジアム内のロッカールームを見学。大きな体格の選手たちを前にはじめは緊張気味な子どもたちでしたが、普段入れないスタジアムの裏側で、試合前の過ごし方や食生活で気を付けていることなどの質問をやり取りする中で、子どもたちの緊張も和らいでいきました。

その後はいよいよ屋外に移動し、選手たちと記念撮影をした後にラグビー体験を実施。ラグビー自体初めて体験する参加者も多い中、基本的なボールの扱い方やパス練習、一生懸命にタックルを練習する姿も見られ、第一線で活躍するプロの選手たちからの熱い指導を受けました。その中で一人ずつキックのフォームをカメラで撮影し、姿勢や体の動かし方、キック力などをAIが分析し今後のトレーニングに活かすためのアドバイスをまとめる「AIキック診断」も実施。教わったことを実践しながら、午後の部での結果解説を楽しみに待ちます。



子どもたちがラグビー体験をしている間、保護者の方々に向けて、チームの管理栄養士による食育セミナーを実施しました。講師の浦安D-Rocks 管理栄養士である岡本奈緒子さんからは、ラグビーを頑張る子どもたちのための「強い体」を作る栄養・食事術について。また、体づくりに必要なアイテムを各種取り扱う株式会社ボディプラスインターナショナル所属の北芝佳代子さんからは、小学生のプロテインやサプリメントの摂取開始時期や種類などについて、専門的な知見からアドバイス。真剣な表情でメモを取る参加者の姿も。子どもたちの夢をサポートするための貴重なお話をいただき、食事面でのプロフェッショナルなフィールドが垣間見えました。実際に栄養満点のオリジナルふりかけをブレンドする体験や選手も召し上がるプロテインドリンク・プロテインアーモンドの試食も実施し、栄養素だけでなく美味しさを兼ね備えたメニューに、保護者の方たちからは深く感心する様子がうかがえました。

午後の部の様子



昼食では食育セミナーで教えていただいた「小学生という成長期に摂取すべき栄養素」がたくさん詰まった特別なお弁当を、選手たちと一緒にいただきました。その中で、「ラグビー選手になりたいと思ったきっかけ」や「ラグビーを始めた年齢」など、子どもたちから質問が飛び出し、選手たちが答える場面も。楽しい談笑を交えながらも、普段の練習や試合と同様に、トレーニングの一環である食事に対しても真摯に向き合うプロ選手の姿に、子どもたちはたくさんの刺激を受けていました。

昼食後は再びにピッチに戻り、試合の選手入場時のセレモニーである「フラッグベアラー」のリハーサルを行いました。大きなフラッグの扱いに苦戦しながらも、子どもたちで協力し合って綺麗に掲げられるようになり、本番に向けた準備も万全です。

その後、午前の部で実施した「AIキック診断」について、開発担当者による結果の解説をいただきました。キック時のスイングスピードの大きさに気付いたり、選手からさらにボールを遠くに飛ばすためのキックフォームのアドバイスに、子どもたちも真剣に聞き入りました。



さらにその後は、キッズアクティビティとしてアナウンス体験や選手バスの出迎えなどを体験。ウォーミングアップの見学では、プロ選手の試合前の熱量を間近で感じることができ、試合に向けて子どもたちのボルテージも徐々に高まります。

試合直前にはフラッグベアラーにて、リハーサルの成果を披露。多くの観客が歓声をあげながら見守る中で、きちんと大役を果たしました。そのまま試合観戦を行い、一日かけてラグビーの世界にたっぷり浸った子どもたちは、選手たちの闘志溢れる生のプレーに釘付けになりました。試合は31-28で見事に浦安D-Rocksが勝利し、子どもたちも大喜び！貴重なプロの世界に触れた子どもたちからは、「夢のために全力で頑張るプロの姿勢を学べてよかった」など、それぞれにめざす夢のプロの世界へ、ますます憧れを強める機会となりました。

オフィシャル素材ダウンロードURL

※報道目的以外のご使用はお控えくださいますようお願いいたします。

<オフィシャルスチール素材>

<https://bit.ly/3PEelwi>

※素材をご使用の場合には、クレジット
「©浦安D-Rocks」の記載を必ずお願いします。

ドコモ未来プロジェクトについて

楽しい。好き。カッコいい。
心がワクワクする経験をしたとき、子どもたちは、何かを見つける。
それはいつか、未来を探すヒントになる。

未来へ歩き出す子どもたちに、ワクワクする経験を。

ドコモ未来プロジェクト

ドコモ未来プロジェクトには、3つの舞台があります。



ドコモは、たくさんの経験の場をつくることで、
子どもたちを応援していきます。

ドコモ未来プロジェクトについて

＼ ふれてみよう、プロのセカイ。／

ドコモ未来フィールド

「ドコモ未来フィールド」は、未来へ歩き出す子どもたちにワクワクする経験の場をつくることで、子どもたちを応援していくプロジェクト「ドコモ未来プロジェクト」の中で、「ドコモ未来ミュージアム」「ドコモ未来ラボ」と並ぶ3つの舞台の一つです。子どもたちが、さまざまなプロのセカイを体験できる機会を創出し、大切な学びや夢をみつけてもらうためのプロジェクトです。これまでにNHK交響楽団やサッカー・大宮アルディージャ、ボクシングの井上尚弥選手 & 大橋ボクシングジムなど、様々なジャンルのプロのセカイを体験できる場を提供しております。



浦安D-Rocksについて



「浦安D-Rocks(うらやすディーロックス)」は、JAPAN RUGBY LEAGUE ONEに所属しているラグビーチーム。

シャイニングアークス時代から練習拠点のある千葉県浦安市をホストタウンとし、積極的に地域創生活動を実施。地域に愛されるチームを目指し、「D-Rocks」の「D」には「Dynamic」(躍動)「Dream」(夢)「Delight」(歓喜)が、「Rocks」には岩のような力強さと、略語である「ROX」から「すごい」「最高」という意が込められており、一枚岩のチーム力でファンを感動・魅了するチームであり続けるという意図が込められている。